

## 平成26年第3回定例会一般質問

平成26年第3回市議会定例会の一般質問が次の日程で行われます。

日 時 9月4日(木)・9月5日(金)・8日(月)・9日(火)  
いずれも午前10時から

内 容 発言通告書(一般質問)のとおり

問合先 議会事務局(電話042-387-9947)

発言順	議員名	質問日(予定)
1	中山 克己	平成26年9月4日(木)
2	露口 哲治	
3	小林 正樹	
4	五十嵐 京子	
5	宮下 誠	
6	鈴木 成夫	
7	白井 亨	平成26年9月5日(金)
8	岸田 正義	
9	渡辺 ふき子	
10	遠藤 百合子	
11	関根 優司	
12	湯沢 綾子	平成26年9月8日(月)
13	林 倫子	
14	田頭 祐子	
15	板倉 真也	
16	百瀬 和浩	
17	斎藤 康夫	
18	渡辺 大三	平成26年9月9日(火)
19	片山 薫	
20	森戸 洋子	
21	紀 由紀子	
22	水上 洋志	



# 一般質問の通告について

発言順

2

平成26年 8月25日  
(西暦2014)

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

露口哲治

## 発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

### 記

表題及び質問の具体的内容	備考
1、スポーツ施設利用者間の事故対応を問う。 市や教育委員会などが主催する競技での事故対応は保険をかけて最低限度の補償はされていると考える、市の施設を個人で利用する場合は補償が無い。 (1) 温水プール、バスケットボール、卓球など事故の状況を問う。 (2) 他市のスポーツ施設では事故対応の保険はかけられているか。 (3) 個人でスポーツ施設を利用した場合事故対応の保険をかけるべき。 (4) 事故保険加入は指定管理者選定の条件になっているのか。	
2、公園等の維持・管理・利用は、住民主体の方向性で。 市内には9の都市公園、73の児童公園、46の子ども広場がありますとHPに書かれている、公園の樹木剪定や清掃などの費用は削減すべきだ。 (1) 公園の利用実態を調査していると思うが、調査時点での問題点はあるのか。 (2) 公園の表示板は分かりにくいといわれているが、もみの木公園の表示はきれいだ。今後の表示方法はどうか。 (3) 公園の植栽維持、清掃に係る費用はどれほどか。 (4) 公園の管理・運営は地域のボランティア組織や老人クラブ、子ども会などに任せる方策を考えてはどうか。	
3、耐震診断補助金について、昭和56年5月31日以前に着工した木造住宅の耐震診断及び耐震改修に要する費用の一部を助成している。実態と今後について問う。	

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
4、小金井市対面朗読の会等の活動へ、市の積極姿勢を求める。	
<p>図書館運営協議会の議事録には、ハンディキャップサービスや対面朗読を行う旨の文言があり、視覚障害のある方のため、ボランティアサークルの協力のもとデージー化や点字図書作成に努めている。</p>	
<p>(1) 視覚障害者への情報サービスの実態をどのようにとらえているのか、図書館業務として、音訳や点字化を進めているが今のままで十分か。</p>	
<p>(2) 視覚障害者への市報、議会報、社協だより、声の雑誌等々多くの情報が十分に届いていないと聞く、現状認識と今後を問う。</p>	
<p>(3) 今後の対応として録音室の改善を求める。きたまちセンターには対面朗読の会やリーディングサークルなど視覚障害者への活動団体の紹介が置かれていない。</p>	
<p>(4) 対面朗読の場所として、きたまちセンターの利用促進を願う。</p>	

# 一般質問の通告について

発言順

3

平成26年08月25日  
(西暦2014)

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 小林 正樹

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1. 活字文化の復活で健康な街を</p> <ul style="list-style-type: none"><li>a) 市民に役立つ図書館にするために</li><li>b) 「読書通帳」の導入検討を</li><li>c) 「まちなか図書館」をおこなわないか</li></ul> <p>2. 認知症対策のはじめの一步を</p> <ul style="list-style-type: none"><li>a) 早期発見のためのスクリーニングシステムの導入を</li><li>b) 「認知症サポーター養成講座」を中学校で実施しないか</li></ul> <p>3. 危険ドラッグから市民を守るために</p> <ul style="list-style-type: none"><li>a) 市民をとりまく実態を問う</li><li>b) 現状の対応について</li><li>c) 大人向けの周知徹底は十分か</li></ul>	

# 一般質問の通告について

発言順

4

平成26年8月25日  
(西暦 )

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 五十嵐京子

## 発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
1. 在宅医療の推進について	
地域における医療と福祉の総合改革で、地域包括ケアシステムを構築し、	
これまでの医療や福祉サービスを変革する動きがある。その中でテーマに	
なっている在宅医療について、小金井市の考えを問う。	
(1) かかりつけ医の推進を図ることが大きなテーマになっていると思うが、	
市の認識は？	
(2) 医師会等との話し合いについての現状は？	
(3) 介護保険の保険者である小金井市の役割は？	
(4) 今後の予定について	
2. 「きたまちセンター」を運営しているNPO法人の役割について	
NPO法人発足の動きから約1年、きたまちセンターのオープンから5か月。	
市民からは歓迎の声が聞こえるが、初めてのNPO法人の運営ということもあり、	
課題もあると思うので、解決に向けた考えを問う。	
(1) 初めての試みであるNPO法人の運営に市の評価は？	
(2) 正会員の役割をどうとらえるか？	
(3) NPO法人が自らの工夫で運営できる裁量範囲を広げる方向で、委託内容に	
ついて段階的に見直していく考えは？	

# 一般質問の通告について

発言順	5
-----	---

平成26年8月25日  
(西暦)

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 宮下 誠

## 発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

### 記

表題及び質問の具体的内容	備考
1、東日本大震災の風化との戦いを (1) 現地で作業するボランティアツアーを呼びかけないか (特に夏と冬)。 (2) 被災地の零細企業からの物品を購入しないか。	
2、災害対策を着実に進めないか (1) 市役所本庁舎の耐震診断を早急におこなわないか。 (2) 耐震アドバイザー制度は充実しているか。 (3) 公民館への自販機設置を拡充しないか。 (4) 学校の防火シャッターの安全対策はとれているか。 (5) 災害時に有効な、携帯ラジオを普及しないか。 (6) 武蔵野市を参考に、防災訓練をイベント型で開催しないか。 (7) 家具転倒防止等を中心に「我が家の防災コンクール」をおこなわないか。 (8) 学校の運動会や市内の各種イベントなどで、実践的な防災競技を取り入れないか。 (9) 市の職員に対して安否確認メールを使った訓練を実施しないか。 (10) 災害伝言ダイヤル等を活用し、安否確認を全市で試行しないか。	

# 一般質問の通告について

発言順

6

平成26年 8月25日  
(西暦2014年)

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 鈴木 成夫

## 発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

### 記

表題及び質問の具体的内容	備考
1. 子ども・子育て支援新制度施行にむけて、幼児教育に対する市の考えを問う	
①制度変更が市内の私立幼稚園に及ぼす影響について、調査とヒアリングは実施されているか	
②私立幼稚園の所管は学校教育部でいいか	
2. 障害者差別解消法（障がいを理由とする差別の解消の推進に関する法律）の施行に向けた小金井市の取り組みについて	
①検討は行うのか。行うとすると、どの機関が検討するのか	
②地域での差別解消のために、障がいのある人・ない人がともに小金井で暮らしていくための条例を制定しないか	
3. 小金井市でも防災基本条例の策定を検討しないか	
・行政視察を行った宮城県石巻市を参考に、小金井市でも市民とともに条例策定の取り組みを始めないか	



# 一般質問の通告について

発言順

7

平成26年 8月 26日  
(西暦2014年)

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

白井 亨

## 発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<b>1. 「市民参加」の目指す姿と実態のギャップについて</b>	
(1) 審議会の市民参加の現状について	
(2) 市民参加推進議会の役割と、市民参加条例の運用検証について	
(3) 「若者」「子ども」の市政参加の機会について	
【質問意図】 昨年の小学校給食調理業務の民間委託の「決定」と市民（保護者）への「説明」のタイミングについて議会でも様々な議員から意見があった。決定の前段階で意見を聞いて欲しい、という声も多い中、市民参加条例どおりに運用ができているのか。現状の課題点の洗い出しと、そもそも行政決定に市民が関わる機会が少ない現状で市民参加をより推進できる方策を検討したい。	
<b>2. これからの子どもたちのための保育の話をしよう</b>	
(1) 今年度の待機児童解消への対策の進捗と課題について	
(2) 27年度・28年度の保育ニーズのピークをどう乗り切るのか	
【質問意図】 26年度の待機児童数は257名を数え、3年連続多摩26市で待機児童発生率がワーストになった。子ども・子育て会議でも協議されているように、今後は27年と28年がいわゆる保育ニーズのピークを迎えることになる。これに向けて市としてどう保育枠の確保に取り組んでいくのか。	
<b>3. クリエイティブなまちづくりの推進を</b>	
(1) 「クリエイティブ」分野をこれからの産業振興の重点に置いてはどうか	
(2) アーティスト＆クリエイターが地域で活躍できる「場」を考えないか	
【質問意図】 都心に近い中央線沿線に共通したことだが、小金井市もクリエイター・アーティストが多く住むと言われている。小金井市がもっとおもしろくなるために、こういう市民が地域に出てくる環境を整えることが必要だと考える。市としての考えはどうか。	



# 一般質問の通告について

発言順

9

平成26年 8月 17日  
(西暦 )

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

渡辺 了子

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1、犬猫殺処分ゼロに向け適切な対応を 「人と動物が幸せに暮らす社会の実現」をめざし、犬猫の殺処分ゼロを目指す取り組みが進んでいる</p> <p>① 人と動物が幸せに暮らす社会の実現プロジェクトについて</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・小金井市における現状と今後の取り組みは</li><li>・ペットを育てるためのマナー講習会を行うべき</li><li>・野良猫による被害等を改善するための施策を講じるべき</li></ul> <p>② 地域防災計画における災害時のペット救護策、飼育保管者に対する指導計画は万全か</p> <p>2、今こそ「高齢者用肺炎球菌ワクチン」の接種率向上で肺炎予防を 国の定期接種化を受け、高齢者の死因の第1位を占める肺炎を確実に予防し、健康寿命の向上を目指す取り組みを行うべき</p> <p>① 任意接種の取り組み状況について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・小金井市の周知方法と助成の状況、接種の状況</li></ul> <p>② 定期接種制度を受けての、小金井市の対応について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・制度の概要・周知方法・接種目標</li><li>・費用対効果についてどう考えるか</li></ul> <p>③ 一生に一度、一回限り利用可能な制度に対し、最大効果を生み出す努力を</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・全ての接種希望者が機会を逃さないよう、全対象者への個別通知を</li></ul> <p>3、小金井市の空き家対策の進捗状況は 老朽化した空き家対策法案が国会提出の準備をされているが、わが市の空き家対策は進んでいるか</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「小金井市空き家の適正管理条例」を制定し、待ったなしの空き家対策に対応すべき</li></ul>	

# 一般質問の通告について

発言順	10
-----	----

平成26年8月27日  
(西暦)

(宛先)  
小金井市議会議員

小金井市議会議員

(署名) 遠藤百合子

## 発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

### 記

表題及び質問の具体的内容	備考
1、地域の見守りネットワークシステムの再確認を	
地域安全課や教育委員会を含む市役所・自治会町会・農協・	
小中学校PTA・商工会・新聞販売所・小金井警察等の	
ご協力により、地域の安全が守られている	
(1) 子どもを見守る家、カンガルーのポケットの現状と今後	
(2) 安全安心まちづくり条例に基づく協議会から	
(3) 安全安心メール配信システムの更なる広がり	
(4) 弁天通踏切跡付近の安全対策	
(5) 子どもたちの登下校の見守り体制	
(6) 防災行政無線「ふれあいメロディー」について	
(7) わんわんパトロールの動向	
(8) 袖ヶ浦市の高齢者見守りシステムを参考に	
2、信号機の設置が難しい交通危険個所の対応について	
(1) 現状の把握は	
(2) 小金井警察との密なる連携を	
(3) 小金井市として出来ることは	
3、薬物乱用防止を進めていくために	
(1) 小中学校・健康課での取組状況は	
(2) 危険ドラッグについて、改めての周知を	



# 一般質問の通告について

発言順

12

平成26年 8 月 27 日  
(西暦 )

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 湯沢 綾子

## 発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1 指導・勧告・公表等の措置について</p> <p>例えば、小金井市まちをきれいにする条例では、自動販売業者の回収容器の設置義務が定められている(第12条)が、義務の履行及び違反の場合の措置状況はどうなっているか。</p> <p>条例の実効性の確保という観点から質問する。</p>	
<p>2 空き家条例について</p> <p>本市でも空き家条例の制定が望まれるところであるが、制定にあたって検討が必要となる具体的な論点(対象とする空き家の状態の定義、固定資産税との関わり、代執行規定を盛り込むことの是非など)について市の見解を問う。</p> <p>もって、条例制定の思考過程を伺いたい。</p>	

# 一般質問の通告について

発言順

13

2014年8月27日

(あて先)

小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

林 倫子

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p><b>1・都市計画審議会に市民公募委員を</b></p> <p>(1) 都市計画法第3条2で、「住民を委員に任命することができる」となっている。 ・市民公募委員設置の検討状況は、どうなっているか。 ・検討が進まない理由は何か。</p> <p>(2) 委員の構成を変えて、市民参加を促すべき。 ・市民が委員として入っている市は22市。小金井市でも導入すべき。</p> <p><b>2・空き家の活用に住み替えの視点を入れよ</b></p> <p>(1) 空き家の有効活用のために、市が行っている具体的な施策はどのようなものがあるか。</p> <p>(2) 他自治体を参考に、シニア世代と子育て世代の住み替えのマッチングをしないか。 ・自治体が主体になることを検討しないか ・一般社団法人の活用による連携をすすめよ</p>	

# 一般質問の通告について

発言順

14

2014年8月27日

(あて先)

小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

田頭祐子

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p><b>1・学校と地域をつなぐスクールコーディネーターの導入を</b></p> <p>平成25年度、都内で23区市町の自治体が「学校支援ボランティア推進協議会事業」を活用している。</p> <p>(1) 小金井市が「学校支援ボランティア推進協議会事業」を活用していない理由は？</p> <p>(2) 「学習支援制度」や「家庭と子どもの支援員」など、市内の小中学校で地域の方による学校支援の現状とその課題は？</p> <p>(3) 子どもたちの学習や体験を地域が支援する仕組みとして、学校と地域をつなぐスクールコーディネーターを導入しないか</p> <p><b>2・生活困窮者自立支援法施行に伴う若者支援は</b></p> <p>来年4月から、生活保護に至る前段階の自立支援策の強化として、生活困窮者に対し、自立相談支援事業の実施及び住居確保給付金の支給が、自治体の必須事業となる。</p> <p>(1) 多重債務者への支援体制はどう作るのか</p> <p>(2) 15歳～34歳までの、若年無業者は市内で何人と推定されるか</p> <p>(3) 若者世代への支援体制をどうつくるか</p> <p>(4) 全庁的な相談窓口の設置と、NPOや社協との連携が必要ではないか</p>	



# 一般質問の通告について

発言順

15

平成 年 8 月 27 日  
(西暦 2014)

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

板倉真也

## 発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第 60 条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
1. 国保税の負担軽減、一部負担金減免の拡充を	
(1) 高すぎる国保税の負担軽減策の拡充を	
① 今年度の納税・納入通知書を送付して以降の市民からの由り合わせ等の状況について	
② 被保険者の国保税額の負担感に対する市の認識を問う	
③ さらに保険料アップは行なうべきではない	
④ 均等割額の負担軽減策の拡充を	
⑤ 窓口一部負担金減免策の拡充を	
(2) 国保の運営責任を都道府県に移管する動きについて	
① 現在の動向について	
② 移管以降の国保税額の見込みについて	
③ 移管以降における国保税の減免・軽減規定の有無について	
④ 乳幼児医療費助成等の自治体単独事業に対する影響の有無について	
⑤ 国庫負担増を国に求めよ	
2. 防災対策への姿勢を問う	
(1) 首都直下型地震による被害を少なくする取り組みについて	
① 小金井市の被害想定内容を問う	
② 被害を少なくするための取り組み状況を問う	
③ 国分寺崖線区域の崩壊危険箇所の対策を問う	

表題及び質問の具体的内容	備考
(2)防災施策の拡充を	
①木造住宅耐震助成制度の拡充を	
②木造住宅耐震化促進のためにも、東京都に助成制度確立を求めよ	
③感震ブレーカー設置助成の創設を	
④市内公共施設の耐震化状況を問う	
⑤消火栓の耐震化状況を問う	
⑥見直しがすすめられている地域防災計画の内容に2112問う	

# 一般質問の通告について

発言順

16

平成26年 8月27日  
(西暦)

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 百瀬和浩

## 発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

### 記

表題及び質問の具体的内容	備考
多様な市民ニーズに応え、より地域のニーズに合った効率的な行政運営をするために叫ばれてきた「地方分権」であります。その実現には自治体の確固たる自立性が確保されなければなりません。小金井市は財政規模が大きくない自治体ではありますが、安定した税収に支えられ、地域資源は人的資源も含め豊富であると感じています。我々は、自立した、そして持続可能な行政運営をどのように実現できるか議論し、計画を構築しなければなりません。	
1. 公共施設の再配置を今後どのように進めていくのか。	
2. 公共交通（コミュニティバス等）の課題と将来の展望について。	
3. 独自の補助金・交付金はその自治体の象徴であり、「らしさ」を生む原動力である。これまでの取組みと将来的な展望について。	
4. まちづくりは小金井らしさを体現できる良い機会である。近隣の自治体と同じ事や過去の事例の再現では「都市間競争」には勝つことはできません。駅前再開発を含むまちづくりを今後どのように進めていくのか。	
5. ポテンシャルの高い地域資源を今後どのようにセールスし、税収を高めていくのか。	

# 一般質問の通告について

発言順

17

平成 26年 8月 27日  
(西暦)

(宛先)  
小金井市議会議員

小金井市議会議員

(署名) 奇藤 康夫

## 発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

### 記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1. 小金井市職員の意識改革</p> <ul style="list-style-type: none"><li>ア 職員研修の現状について問う</li><li>イ 民間社員教育ビジネスの現状</li><li>ウ 各階層別研修の必要性について<ul style="list-style-type: none"><li>1. 上級管理者研修</li><li>2. 中間管理者研修</li><li>3. 初級管理者研修</li><li>4. 一般職員研修</li><li>5. 新入職員研修</li></ul></li><li>エ 目的別の研修について<ul style="list-style-type: none"><li>1. 行動力強化</li><li>2. 企画力強化</li><li>3. 指導力強化</li><li>4. コミュニケーション強化</li></ul></li><li>オ 第三者機関を設置すべきである</li><li>カ 体質改善5年計画</li></ul> <p>2. 全国学力・学習状況調査の結果を受けて</p> <ul style="list-style-type: none"><li>ア この調査の目的は何か</li><li>イ 新聞を初めとしたメディアの報道のしかたに問題はないか</li><li>ウ 小金井市にはどの程度の情報が来ているのか</li><li>エ 小金井市の小・中学生の結果はどうであったか</li><li>オ この調査の結果をどのように教育現場に活かすのか</li></ul>	

平成26年8月27日  
(西暦2014)

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

渡辺大三

発言通告書(一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p><b>1 リサイクルセンターの安全確保について</b></p> <p>(1) リサイクルセンターは市の施設であり、シルバー人材センターが運営している。平成25年5月の報告書には「市が(中略)改築・修繕などを施工していないことから老朽化が著しく、外壁や天井などが剥離・落下し、お客様や就業者の安全確保が難しい状況」との記載がある。剥離・落下の実態について、その詳細と、市としてどのように対応してきたのかを問う。</p> <p>(2) 8月25日にメールでも要望書を提出したが、屋根上の看板はすでに数枚が落下し、残存しているのは「リ」「ク」「事」「所」の4枚のみである。同所はリサイクルセンターのお客様や就業者、さらには地域住民が多数往来している場所である。下に人がいる場合に落下すれば生命の危険性すらある。なぜ放置し続けているのか、その理由を問う。また、早急な撤去を求める。</p> <p><b>2 なぜ審議会等に宛てた市民からの要望書・請願書を「突き返し」「受け取りを拒む」のか</b></p> <p>(1) 「突き返し」「受け取りを拒む」非常識な小金井市職員の実態について問う。</p> <p>(2) 市長は、どのような法令に基づいて「突き返し」ことを指示しているのか。</p> <p>(3) 審議会等では、請願書は正式に議題にして議論を交わし、誠実に処理しているのか。請願されたとおり、要望されたとおりに対応するかは審議会等の判断だが、最低限、議題にして議論し、どのように対応するかを決め、請願者に回答するのは当然のことではないか。</p> <p>(4) 審議会等に宛てた市民からの請願書・要望書の適切な収受・処理について、どのような内規で対応しているのか。再発防止のため市民参加条例への明記が必要ではないか。</p> <p><b>3 民間超高層マンション建設への税金投入の是非について、住民投票を実施せよ</b></p> <p>(1) 住民投票を求める直接請求は、多数の署名で成立が確実な情勢となった。都市計画マスタープランに基づき、「市民の意向」を住民投票で確認せよ。</p> <p>(2) 現下の財政状態、山積する諸課題への危機的財源不足から考えて、優先すべきは何なのか、「民意を問う」のは当然のことである。</p>	

# 一般質問の通告について

発言順

19

2014年8月27日

(あて先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

片山 かの子

## 発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1. 困っている人たちに届く制度をつくろう</p> <p>1) 「生活困窮者自立支援法」の自治体計画には各自治体間の格差が出ると言われ独自性が期待されている。小金井の進捗状況は。</p> <p>2) 多摩地域、区部の準備状況をどう把握しているか。</p> <p>3) 滋賀県野洲市の取組みを参考に、必須事業の相談窓口を整えてはどうか。滋賀県の自治体職員間で実践しているような研究会は多摩地域で行っているか。</p> <p>2. 空き家を地域資源として有効活用しよう</p> <p>1) 市内の空き家・空き室の把握と、今後の施策の方向について。</p> <p>2) 世田谷の空き家活用事業、豊島区の居住支援協議会等の取組みを参考に、福祉の視点で地域を活性化する空き家活用方策を組み立てられないか。</p> <p>3. 第4次男女共同参画行動計画の進捗状況は。</p> <p>1) 進捗状況調査報告書について。</p> <p>2) 次の計画にどのように活かすのか。</p>	

# 一般質問の通告について

発言順

20

平成 年8月27日  
(西暦2014年)

(宛先)  
小金井市議会議員

小金井市議会議員

(署名) 森戸 洋子

## 発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
1. よりよい介護保険制度にするために	
(1) 介護保険制度が変更されたが、市民が利用しやすいものに市は努力すべき	
(2) 新総合事業について、準備状況と問題点について	
(3) 地域包括支援センターの体制と機能の強化を	
2. 戦後初めて大きく変わる子ども・子育てシステムを子どもの権利が保障されるように取り組むことを求める	
(1) 2015年4月から始まる新たな制度の準備状況について	
(2) 幼稚園の制度はどのように変わるのか?	
(3) 支給認定と利用の手続き、利用調整について	
(4) 保育料について	
(5) 子ども・子育て支援事業について	
(6) 市民への説明会を開催すべきではないか	
3. 東小金井市政センターの設置計画について問う	
(1) 東小金井市政センターを東部地域に設置することは市民への公約	
(2) 各種申請など一括で手続きができるようにすべき	

# 一般質問の通告について

発言順

21

平成26年8月27日  
(西暦)

(あて先)  
小金井市議会議員

小金井市議会議員

(署名)

紀由紀子

## 発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

### 記

表題及び質問の具体的内容	備考
1. 2025年問題を見ずして、小金井市として「地域包括ケアシステム」をどのように構築していくのか	
(1) 「地域包括ケアシステム」について、市としてどのように認識し、先事例を学んで構築するのか	
(2) 第6期介護保険事業計画の中でどう反映させていくのか (介護予防を含めて)	
(3) 認知症初期集中支援チームの設置や認知症地域支援推進員の配置を行わないか	
(4) 暮らしの保健室の設置を考えないか	
2. 生活困窮者自立支援制度の構築に向けて	
(1) 市内体制の構築を野州市を参考にしないか	
(2) 実施方法についての検討はしているか	
(3) 早期発見と支援の体制はどうか	



